共に生きる 地域に貢献 充実した生活を支援





法人の概要

社会福祉法人共生福祉会は、障害者福祉を中心に事業を展開し、社会の中における一人ひとりの 自立(働く)と、思いに寄り添ったその人らしい充実した生活(暮らす)を支援し、さらには地域 に貢献して、地域と共に理想的な「共生社会」を構築していくことを基本理念としています。

社会福祉法人共生福祉会の創始者、初代会長である福島禎蔵翁は、法人名称の由来である「共に生きる」ことを法人の基本方針として掲げました。

福島翁は、障害の有無にかかわらず、共に切磋琢磨しながら、全ての人々が幸せに生きることを願い、 その理想に向かって邁進していくための心構えを説きました。

それを私たちは「福島精神」と呼び、「共に生きる」ことを実践するための教え、人の歩むべき道 として、継承し当法人の基本方針としています。

【福島精神】

①宇宙のなかの人間

「宇宙の大道」 宇宙万有・共愛常動

「道徳の神髄 | 独立自尊・万物敬愛

「生活の指針」 感謝敬愛・協力邁進

②私たちのねがい

心の在り方

自然の恵みと、世の人々や祖先の恩とに深く感謝し、浄き真をもって「独立自尊・万物敬愛」 の精神を打ち立てましょう。

生活の態度

互いに協力し、常に健康と教養技能の向上を図り、「明るい職場」「楽しい生活」の基を築いて、 世のため人のために全力を尽くしましょう。

人生究極の目的

神仏のみ心である「万物の共に愛し、常に動く」自然の大道にならい、「人類の福祉増進」と「世界の平和楽土建設」に邁進しましょう。

③偽・情・争不許入苑(いつわり・なまけ・あらそい・えんにいるをゆるさず)

法人施設(事業所)のごあんない

〇 袋原

〒981-1102 仙台市太白区袋原 5 丁目 12 番 1 号





・仙台ワークキャンパス

電話 022-741-0998 FAX 022-306-2515

e-mail info@sendai-wc.com

定員 就労継続支援B型:35名 生活介護:40名

施設入所支援:35名 短期入所:2名 日中一時支援:2名

介護サービス包括型共同生活援助(グループホーム) :10名

外部サービス利用型共同生活援助(グループホーム) : 10名

就労・生活介護の日中活動(生産活動)の場と、施設入所支援やグループホームの生活の場が隣接した敷地にある多機能型施設です。日中は「働く場」として、夜間・休日は「暮らしの場」として利用者の自立と自己実現をサポートします。 法人本部も同事業所内にあります。



・共生福祉会障害者相談支援センター

電話 022-399-8906

共生福祉会各事業所の利用者及び地域で生活されている障害児・者及びその家族が、障害福祉サービスを円滑に利用できるように相談支援を行います。(令和7年2月:精神障害者支援体制加算要件研修修了)

(令和7年7月:宮城県高次脳機能障害支援養成研修修了)

○萩の郷

〒982-0804 仙台市太白区鈎取御堂平38番地



・萩の郷福祉工場

電話 022-244-0115 FAX 022-244-7087

e-mail gozain@haginosato.or.jp

定員 就労継続支援 A 型:27名 就労継続支援 B 型:13名

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し就労の機会を提供し、生産活動などの機会の提供を通じてその知識および能力の向上のために必要な訓練などを行ったり、働くことを通して生きがいや生活の張りが持てるようにします。



・萩の郷福寿苑

電話 022-244-0116 FAX 022-244-6746

e-mail fukujuen@haginosato.jp

定員 生活介護:70名 施設入所支援:70名 短期入所:2名

主として身体に障害のある方が、生活の場として個人の尊厳に相応しい日常生活や社会生活を健康に営むことができるよう、日中における介護や活動等の日常生活の支援をする「生活介護」と、夜間における介護や生活の支援を行う「施設入所支援」の事業を行っています。



・萩の郷第二福寿苑

電話 022-244-0118 FAX 022-244-6746 e-mail nifuku@haginosato.jp

定員 生活介護:40名 施設入所支援:40名 短期入所:2名

主として身体に障害のある方が、生活の場として個人の尊厳に相応しい日常生活や社会生活を健康に営むことができるよう、日中における介護や活動等の日常生活の支援をする「生活介護」と、夜間における介護や生活の支援を行う「施設入所支援」の事業を行っています。

○ 禎祥ワークキャンパス

〒982-0251 仙台市太白区茂庭人来田東 10番3号



電話 022-244-4531 FAX 022-244-4532 e-mail teisyo-work@estate.ocn.ne.jp

定員 生活介護:30名 施設入所支援:30名 短期入所あり

身体に障害がある方を主な対象として、日中活動では生産活動を中心 に行い出来高に応じた工賃を支給しています。また、生活の場として、 利用者が自立した生活を営む事ができるよう必要に応じた支援を提供

○ 障害者相談支援事業所 ぴあら若林

〒984-0824 仙台市若林区遠見塚東 8-1 若林障害者福祉センター内



電話 022-282-5188 FAX 022-282-5188 e-mail piara-wakabayashi@bz01.plala.or.jp

仙台市の委託相談支援事業所として、仙台市内にお住まいの障害のある方とそのご家族を対象に、福祉サービス利用の有無や障害者手帳の有無に関係なく、自ら選択し希望する生活の実現や安心した生活の継続ができるよう相談支援を行っています。

○ 居宅・訪問介護事業所 ケアステーション四郎丸 〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字大宮 26-1 市営住宅 10 棟 111



電話 022-306-2050 FAX 022-306-2051 e-mail caresta_siroumaru@outlook.jp

四郎丸市営住宅の中にあり、建物内の重度障害者向け車椅子住宅に 入居されている方をはじめ地域にお住まいの障害がある方やご高齢の 方に対しホームヘルプサービスを提供し、地域に開かれた拠点として の役割を目指しています。

法人施設(事業所)へのアクセス

袋原

仙台市営地下鉄南北線/長町駅、JR/長町駅 または南仙台駅より仙台市営バスに乗り換え 長町駅からは長町駅・たいはっくる前から四郎丸 行き乗車

南仙台駅からは南仙台駅東口から四郎丸行き乗車 袋原落合ポンプ場前下車 徒歩2分 <自動車の場合> 仙台駅より約30分 仙台南インターより約30分 ※近隣の目印には「袋原落合ポンプ場」があります。

萩の郷

仙台市営地下鉄東西線/八木山動物公園駅より 仙台市営バスに乗り換え

日赤病院・八木山南経由 長町南駅・長町駅東口 行き乗車

八木山南5丁目下車 徒歩5分 ※その他最寄りのバス停

・宮城交通バス/八木山南団地

<自動車の場合> 仙台駅より約 25 分 仙台南インターより約 20 分 ※近隣の目印には「日赤病院」「ひより台 大橋」があります。

禎祥ワークキャンパス

<公共交通機関の場合>
JRまたは仙台市営地下鉄南北線/長町駅より宮城交通バスに乗り換えライフタウン名取行き乗車ライフタウン名取入口下車 徒歩 10 分

<自動車の場合> 仙台南インターすぐ 仙台駅より約 20 分 ※近隣の目印には「仙台南インター」が あります。

ぴあら若林

<公共交通機関の場合> 仙台駅より仙台市営バスに乗り換え 志波町・霞の目営業所行き乗車 霞の目営業所前下車 徒歩10分 ※その他最寄りのバス停

・仙台市営バス/遠見塚小学校前

<自動車の場合> 仙台駅より約 15 分 ※若林障害者福祉センター内にあります。

ケアステーション四郎丸

<公共交通機関の場合>

仙台市営地下鉄南北線/長町駅、JR/長町駅 または南仙台駅より仙台市営バスに乗り換え 長町駅からは 長町駅・たいはっくる前から四郎丸 行き乗車

南仙台駅からは 南仙台駅東口から四郎丸行き乗車 東四郎丸下車 徒歩1分 <自動車の場合>

仙台南インターより約30分

※仙台市営住宅 10 棟の中にあります。

法人設立者(初代会長)について







福島禎蔵 (1890 - 1979)

社会福祉法人共生福祉会設立者・初代会長の福島禎蔵は仙台の資産家で有力な実業家でもありました。明治41年~大正2年にかけて学生時代を札幌農学校で学び、卒業後は仙台に戻って、若い頃から様々な新しい事業を展開する傍ら、東北の農地救済のための事業活動や、司法保護団体の会長として不遇の立場にある青少年の社会復帰のための貢献活動も行っていました。また財界のみならず文化芸術や道徳哲学等にも深い理解を示し、当時の有名な芸術家や書家、自然科学分野で世界的に著名な学者などとも親交があり、枠に囚われない稀代の実業家として人望を集めました。

財界を退いた後、社会事業のために何かできることはないか模索していた福島翁に、国立西多賀病院(当時)の近藤所長が重度身体障害者の援護救済の協力を仰ぐべく意見を伺ったところ、福島翁にとって社会(福祉)事業は若い頃からの念願であり、障害者のために余生を捧げることを決意し自らの私財を投じて昭和37年「財団法人共生福祉会」を設立します。財団法人共生福祉会は当時西多賀療養所構内の通称月ヶ丘に建てられた「月ヶ丘共生館」を拠点とし、障害者が働きながら社会の中で自立し、文化的な生活を送れるよう支援する障害者福祉事業を全国に先駆けて実施しました。「月ヶ丘」の由来は昔、鈎取御堂平から金洗沢一帯にかけて、伊達家のご猟場となっており、時折政宗公が月見の宴を催していたことによるそうです。

また福島翁は、当時誰も想像しなかった「共生」という概念を提唱し、法人の名称に用いました。福島翁にとって「共生」すなわち「共に生きる」とは、ただ単に寄り添って生きていくということだけでなく、事業に携わる職員も障害をもつ利用者も、お互いに影響し合いながら一緒に成長していくという概念でもあったそうです。

そして事業を進めていくうちに、障害者の働く場と住まいの場をより拡充していく「障害者の明るく働く村づくり」 構想に発展していき、昭和 40 年 11 月 10 日 「社会福祉法人共生福祉会」 の設立に至りました。

その後も福島翁は事業推進のために奔走し続け、仙台市太白区鈎取御堂平の地を「萩の郷」と命名し、そこに総合福祉施設「萩の郷福祉工場」「萩の郷福寿苑」等の完成を見ました。その功績に対し昭和51年には勲四等旭日小綬章を授けられ、また後日従五位に叙せられました。晩年は萩の郷福寿苑の一角に居を移して余生を過ごし、昭和54年3月9日に帰天いたしました。

社会福祉法人共生福祉会は、障害者就労継続支援A型・B型事業をはじめ、障害者支援施設事業(生活介護・施設入所支援)、共同生活援助事業(グループホーム)、居宅・訪問介護事業、相談支援事業などを運営しておりますが、そのように総合的かつ多岐にわたる福祉事業を展開するに至ったのは、福島翁の社会福祉に対する情熱と、形式に囚われない人柄と実業家精神が基本にあり、それが後世に実を結んだことによるものです。

法人のあゆみ



○ 令和 2年 9月

○ 令和 2年10月

○ 令和 5年 4月

スに統合





○ 昭和40年 9月	社会福祉法人共生福祉会 認可
○ 昭和40年11月	社会福祉法人共生福祉会 設立
○ 昭和41年 6月	身体障害者授産施設 西多賀ワークキャンパス 開設
○ 昭和48年 1月	共生福祉会館(ライフセンター) 開設
○昭和50年 4月	身体障害者福祉工場 萩の郷福祉工場 開設
○昭和50年 4月	身体障害者療護施設 萩の郷福寿苑 開設
○ 昭和52年12月	職員・従業員用保育所 萩の郷保育園 開設
○昭和55年 4月	身体障害者療護施設 萩の郷第二福寿苑 開設
○昭和55年 6月	共生福祉会館(ライフセンター)内に、博物館相当施設 福島美術館 併設
○ 昭和60年 4月	障害者更生センター 禎祥苑 開設
○ 平成10年 3月	心身障害者通所援護事業施設 萩の輪作業所 開設
○ 平成11年10月	障害者更生センター 禎祥苑 終了
○ 平成12年 3月	仙台市委託事業として、身体障害者自立支援事業 四郎丸在宅障害者支援 センター(ケアステーション四郎丸) 開設
○ 平成12年 3月	萩の郷保育園 終了
○ 平成15年 4月	身体障害者授産施設 禎祥ワークキャンパス 開設
○ 平成16年10月	仙台市委託事業として、障害者生活支援事業 ぴあら四郎丸 開設
○ 平成19年 4月	萩の輪作業所 地域活動支援センターとして新事業体系へ移行
○ 平成19年10月	ぴあら四郎丸 若林区へ移転、障害者相談支援事業 ぴあら若林 開設
○ 平成20年 3月	萩の郷福祉工場 障害福祉サービス事業所として新事業体系へ移行
○ 平成21年 4月	萩の郷福寿苑 障害者支援施設として新事業体系へ移行
○ 平成21年 4月	萩の郷第二福寿苑 障害者支援施設として新事業体系へ移行
○ 平成21年 4月	仙台ワークキャンパス開設に伴い、西多賀ワークキャンパス終了
○ 平成21年 5月	多機能型事業所 仙台ワークキャンパス 開設
○ 平成21年 5月	福祉ホーム さくらホーム、すみれホーム 開設
○ 平成24年 4月	禎祥ワークキャンパス 障害者支援施設として新事業体系へ移行
○ 平成26 年 4月	さくらホーム、介護サービス包括型共同生活援助への転換に伴い、仙台ワークキャンパス に統合
○ 平成26年 4月	萩の輪作業所、就労継続支援B型事業への転換に伴い萩の郷福祉工場に統合
○ 平成26 年 4月	萩の郷福祉工場、萩の輪作業所の統合に伴い多機能型事業所へ転換
○ 平成26年12月	特定相談支援事業所 共生福祉会障害者相談支援センター 開設
○ 平成31年 3月	共生福祉会館(ライフセンター)・福島美術館 休業

センター(旧ケアステーション四郎丸)終了

居宅・訪問介護事業所 ケアステーション四郎丸 開設

居宅・訪問介護事業所 ケアステーション四郎丸の開設に伴い、四郎丸在宅 障害者支援

すみれホーム、外部サービス利用型共同生活援助への転換に伴い、仙台ワークキャンパ



法人本部

〒981-1102 仙台市太白区袋原五丁目 12 番 1 号 電話 022-306-3688 FAX 022-306-2515 e-mail kyouseihonbu@clock.ocn.ne.jp